

施策評価シート

担当課：環境課

1 総合計画上の位置づけ

施策名	29 脱炭素社会
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・市民・団体・事業者・行政が一体となって、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量削減を意識して行動しています。

2 施策評価指標

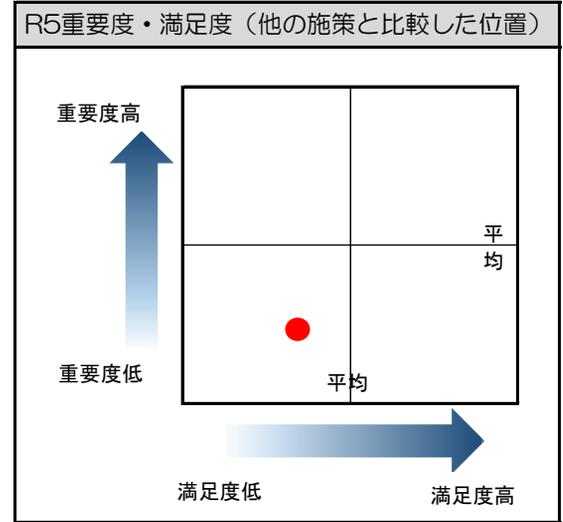
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標			
市民向け脱炭素啓発活動の参加者数	人	87	300			
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	928					

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和5年度
93.7

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）	
令和4年度	令和5年度
	89.0

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

重要度・満足度が約9割と高い状況にあり、環境に対する意識が高いことが伺われます。地球環境を良好に保つために不可欠な、二酸化炭素排出量の削減を進めるため、市民・団体・事業者・行政がそれぞれの立場で一体となって取り組むことが重要であるため、脱炭素社会に向けた行動につながる啓発を推進します。また、化石燃料由来のエネルギーからの脱却を進め、再生可能エネルギーの活用を促進する必要があるため事業を継続します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：脱炭素社会形成事業

R5決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
22,062	脱炭素啓発事業	↗	↗	ゼロカーボンシティの達成に向け啓発を推進し、再生可能エネルギーの活用を進めます。	○
	太陽光発電設備補助金	→	→		